

中国で深刻化する大気汚染の
主要原因となっている微小粒子
物質「PM2.5」の大気中濃度
が、島根県内でも上昇
傾向にある。中国大陸
から運ばれた可能性が
あるが、現在のところ、
健康への影響はないと
いう。

PM2.5は、車の排
ガスなどに含まれる直
径2.5μm以下の微
小粒子状物質。国はP
M2.5の環境基準を

「1日平均値で1立方メートルあたり
35μg以下」と定めている。

島根県内では隠岐の島町で観
測しており、1月28日までは10

健康被害なし

大気汚染物質濃度 島根で上昇傾向

PM25 中国大陸からか

2時からの1時間で40μgを記
録し、一時的に基準値
を超えた。同日の平均
値は34.79μgと基準
値以下だった。その後、
31日は24.45μg（1
日平均値）、1日20.
57μg（午後7時まで
の平均値）と減少して
いる。

県の担当者は「気流
の影響で、中国大陸か
らPM2.5が運ばれた可能性
がある」とした上で、「現時点
で人体への影響などはない」と
話している。